

# アダプト・ロード活動の企業支援システム

## 静岡県

人口：3,775,903 人

面積：7,780.03 km<sup>2</sup>

### 取組の概要

住宅地付近を対象とした既存の「アダプト・ロード・プログラム」を拡充・発展させるかたちで、付近に住宅がなく、地域の方々に清掃をお願いできない道路について、企業による美化団体の支援制度を導入した。

制度の仕組みは、企業に対して道路区域内（当面計画のない道路予定地）に一定規模の広告看板の占有を認める反面、企業から美化団体に対して活動に必要な清掃用具の提供などの支援をしてもらうというものである。

### 取組の紹介

#### 1 取組の背景

- ・ 平成 13 年度から地域の方々に身近な道路の清掃等をしていただく「しずおかアダプト・ロード・プログラム」を展開し、道路美化に取り組んできたが、付近に住宅がなく、地域の方々に清掃等をお願いするのが困難な道路については、この制度での対応がなかなかうまくできないのが実情であった。
- ・ また、暫定供用時の未利用地などの道路敷地の有効活用や、厳しい財政状況の中でも増え続ける道路の維持管理経費の節減が課題となっていた。
- ・ そこで、そのような道路の美化推進を図るため、従来の協働をさらに発展させ、平成 17 年度から、企業による美化団体への支援を条件に、道路への広告看板の設置を認め、美化団体、企業、県の協働により、より良い道路環境を維持する取組を始めることとした。

#### ※ 「しずおかアダプト・ロード・プログラム」

道路管理者（県）が地元自治会等の美化団体との間で、清掃・美化の活動について協定を締結し、美化活動を支援する制度。道路管理者は美化団体に対して 1 箇所につき、事業実施初年度に美化活動のための資材（10 万円分）を提供し、以後、毎年度アダプト参加者の保険料を負担する。



#### **4 取組中の課題・問題点**

- ・ 事業を行うに際して、支援要請のため地元の企業を訪問したほか、屋外広告協会やアダプトプログラムを全国的に推進している食品容器環境美化協会に対して説明を行い、その協力を仰ぐなどして企業の掘り起こしを行った。
- ・ こうした美化支援活動への協力に前向きな企業もあったが、支援企業の掘り起こしに苦勞している。また、美化団体・事業実施箇所・支援企業のマッチングも必要であり、今後の事業推進のため、県ホームページ等を通じたPRを行っているところである。

#### **5 住民の反応・評価**

- ・ 制度の試行段階での関係者へのアンケートや、一般県民から寄せられた意見では、設置看板が交通の支障となることもなく、企業のイメージアップにもつながることから、企業としては率先して参加していくべきであるし、道路管理者も当制度を推進していくべきとの好意的な意見が多かった。

#### **6 今後の課題**

- ・ 事業を行っている箇所が現時点で県内に3箇所と、数としてはまだ少ないため、県ホームページや土木事務所を通じての企業及び住民へのPRを一層推進して行く必要がある。
- ・ また、美化支援活動推進に全国的に取り組んでいる企業団体等を通じて、協賛企業を掘り起こしていくことを検討している。

#### **(参考) 当該取組内容の関連ホームページ**

<http://doboku.pref.shizuoka.jp/douro/kanri/dourobikasien.html>

**担当部署：土木部道路管理室**